

行政評価シート

事務事業名	都市計画マスタープラン策定事業		事業開始年度	平成28年度	
担当部	建設部	担当課	都市計画課	担当係	計画係

1. 事業概要

基本目標 (方策の柱)	1. 若者の未来を創るまち
政策 (方策)	(4) 居住環境を整備し暮らしやすいまちをつくります
施策 (手法)	① 良好な市街地の形成
取組事項	I. 計画的な都市づくりの推進

2. 事業の目標と成果【PLAN(計画)】

事務事業の目標と見込まれる成果	都市計画マスタープランを改定し、集約連携型都市構造による市民の生活を豊かに育む持続可能なまちを目指す。また、この将来都市像を受け、立地適正化計画により、コンパクトシティ・プラスネットワークのまちづくりを進める。
-----------------	---

3. 実施内容【DO(実行)】

取組内容	都市計画マスタープランを10月に改定し公表した。 立地適正化計画は国との協議を進めたが、策定には至らず、平成30年度へ1年先延ばしとなった。
------	---

4. 事業の分析【CHECK(評価)】

指標名①	策定、公表の有無			指標の単位	
指標の説明	指標の設定(数値化)は馴染まない(困難な)ため、策定、公表の有無とする。				
	H28	H29	H30	R1	R2(見込)
目標値	都市計画マスタープラン	立地適正化計画			
実績(見込)値	未達成	都市計画マスタープラン公表	立地適正化計画公表		
達成度(%)		100	100		
指標名②				指標の単位	
指標の説明					
	H28	H29	H30	R1	R2(見込)
目標値					
実績(見込)値					
達成度(%)					
【目標に対する進捗状況】	目標達成				
【費用対効果】	費用に対して効果はあったが課題もあった				
【説明】	都市計画マスタープラン改定を平成28年度中としたが、平成29年10月となった。立地適正化計画策定については、平成29年度中としたが、国との協議に時間を要し、平成31年3月となった。				所管課評価
					B

5. 今後の方向性【ACTION(改善)】

【事業の方向性】	見直して継続
【説明】	都市計画マスタープランは、平成40年度を目標年次とし、今回は中間見直しを行った。今後、さらに必要な場合は見直しを行う。また、目標年次を目途に策定を行う。 立地適正化計画は、平成40年度を目標年次とし、必要に応じ、見直しを行う。また、概ね5年毎に計画の評価を行う。

行政評価シート

事務事業名	杉田駅周辺整備事業			事業開始年度	平成25年度
担当部	建設部	担当課	都市計画課	担当係	市街地整備係

1. 事業概要

基本目標 (方策の柱)	1. 若者の未来を創るまち
政策 (方策)	(4) 居住環境を整備し暮らしやすいまちをつくります
施策 (手法)	① 良好な市街地の形成
取組事項	Ⅱ. 拠点機能整備と宅地開発の誘導

2. 事業の目標と成果【PLAN(計画)】

事務事業の目標と見込まれる成果	杉田駅周辺を本市の「サブ拠点」として位置づけ、良好な道路ネットワークを整備することにより良好な居住環境と生活の利便性・安全性を確保し、企業の立地を誘導促進するとともに雇用の場を創出する。
-----------------	---

3. 実施内容【DO(実行)】

取組内容	<ul style="list-style-type: none"> ・長命1号線道路改良については、用地買収が完了し道路工事の一部を除き完了した。 ・杉田停車場線道路改良については、用地買収が完了し、道路改良工事に着手した。
------	---

4. 事業の分析【CHECK(評価)】

指標名①	長命1号線道路改良の完了			指標の単位	件
指標の説明	道路用地地権者数				
	H28	H29	H30	R1	R2(見込)
目標値	22	22	22	22	22
実績(見込)値	16	19	21	0	22
達成度(%)	72.7	86.4	95.5	95.5	100.0
指標名②	杉田停車場線道路改良の完了			指標の単位	件
指標の説明	道路用地地権者数				
	H28	H29	H30	R1	R2(見込)
目標値	15	15	15	15	15
実績(見込)値	0	7	12	14	15
達成度(%)	0.0	46.7	80.0	93.3	100.0
【目標に対する進捗状況】	目標達成				
【費用対効果】	費用に対して十分な効果があった				
【説明】	<ul style="list-style-type: none"> ・長命1号線については交渉が難航していた地権者から協力が得られ、道路改良工事が完了すれば目的が達成される。(R3年度中竣工予定) ・杉田停車場線については、道路改良工事が完了すれば目的が達成される。(R3年度中竣工予定) 				所管課評価
					A

5. 今後の方向性【ACTION(改善)】

【事業の方向性】	
【説明】	用地交渉が完了したため今後は道路改良工事を実施するのみであり、速やかな完了に向けて事業を進める。

行政評価シート

事務事業名	安達支所東地区整備事業			事業開始年度	H28
担当部	建設部	担当課	都市計画課	担当係	公園緑地係

1. 事業概要

基本目標 (方策の柱)	1. 若者の未来を創るまち
政策 (方策)	(4) 居住環境を整備し暮らしやすいまちをつくれます
施策 (手法)	① 良好な市街地の形成
取組事項	Ⅱ. 拠点機能整備と宅地開発の誘導

2. 事業の目標と成果【PLAN(計画)】※事業概要、目的は総合計画のシステムに入力

事務事業の目標と見込まれる成果	優良な宅地化による住環境の整備と商業施設の誘導のほか、災害時における避難場所としての機能を併せ持つ都市公園等を整備することにより、市民等に快適かつ安全な生活をもたらす本市のサブ拠点形成を目指す。
-----------------	---

3. 実施内容【DO(実行)】※各年度の事業内容、決算額等は総合計画のシステムに入力

取組内容 (評価対象年度)	<ul style="list-style-type: none"> ・事業用地地権者から用地を買収した。 ・先行取得した土地の一部について駐車場の整備に着手した。
------------------	--

4. 事業の分析【CHECK(評価)】

指標名①	安達支所東地区整備事業の完了			指標の単位	m ²
指標の説明	予定事業用地のうち地権者から取得した総面積				
	H28	H29	H30	H31	H32
目標値	20,474	20,474	20,474	20,474	20,474
実績値	9,681	15,099	15,750	15,750	15,750
達成度(%)	47	74	77	77	77
指標名②				指標の単位	
指標の説明					
	H28	H29	H30	H31	H32
目標値	0	0	0	0	0
実績値	0	0	0	0	0
達成度(%)	0	0	0	0	0
【目標に対する進捗状況】	相当程度進展あり				
【費用対効果】	費用に対して効果はあったが課題もあった				
【説明】	用地交渉を根気強く行った結果、事業用地を7割以上取得できたことは十分評価できるものの、頭打ちの印象も否めない。				所管課評価
					B

5. 今後の方向性【ACTION(改善)】

【事業の方向性】	現状のまま継続
【説明】	全ての予定事業用地を取得後、上記目標の達成に向け速やかに事業に着手する。

行政評価シート

事務事業名	市営住宅耐久性向上事業			事業開始年度	平成27年度
担当部	建設部	担当課	建築住宅課	担当係	建築係

1. 事業概要

基本目標 (方策の柱)	1. 若者の未来を創るまち
政策 (方策)	(4) 居住環境を整備し暮らしやすいまちをつくれます
施策 (手法)	① 良好な市街地の形成
取組事項	Ⅲ. 市営住宅の整備

2. 事業の目標と成果【PLAN(計画)】

事務事業の目標と見込まれる成果	市営住宅の耐久性向上及び維持管理を容易にすることを目標とし、市営住宅の長寿命化が達成される。
-----------------	--

3. 実施内容【DO(実行)】

取組内容	前作団地、渋川団地、天月堂団地、亀谷団地における屋上防水・外壁改修工事を行った。
------	--

4. 事業の分析【CHECK(評価)】

指標名①	屋上防水・外壁改修工事に係る指標			指標の単位	戸
指標の説明	二本松市長寿命化計画に基づく計画戸数				
	H28	H29	H30	R1	R2(見込)
目標値	30	12	12		
実績(見込)値	30	12	12		
達成度(%)	100	100	100		
指標名②				指標の単位	
指標の説明					
	H28	H29	H30	R1	R2(見込)
目標値					
実績(見込)値					
達成度(%)					
【目標に対する進捗状況】	目標達成				
【費用対効果】	費用に対して十分な効果があった				
【説明】					所管課評価
					A

5. 今後の方向性【ACTION(改善)】

【事業の方向性】	見直して継続
【説明】	現在の長寿命化計画に基づき、中高層住宅について平成30年度事業完了。今後の事業については長寿命化計画見直しの中で検討する。

行政評価シート

事務事業名	中心市街地老朽住宅団地統合建替事業		事業開始年度	
担当部	建設部	担当課	建築住宅課	担当係
				建築係

1. 事業概要

基本目標 (方策の柱)	1. 若者の未来を創るまち
政策 (方策)	(4) 居住環境を整備し暮らしやすいまちをつくります
施策 (手法)	① 良好な市街地の形成
取組事項	Ⅲ. 市営住宅の整備

2. 事業の目標と成果【PLAN(計画)】

事務事業の目標と見込まれる成果	変電所前、若宮、陣場、一番丁、郭内の5団地を統合し、中心市街地又はその近郊に48戸を建て替えることを目標とし、多世代の街なか居住を目指す。
-----------------	---

3. 実施内容【DO(実行)】

取組内容	二本松市公営住宅等長寿命化計画の見直しにあたり、住宅セーフティネットの方針及び目標年次である令和12年度における公営住宅のストック数を設定した。
------	--

4. 事業の分析【CHECK(評価)】

指標名①	市営住宅統合建替に係る指標			指標の単位	戸
指標の説明	建築予定戸数				
	H28	H29	H30	R1	R2(見込)
目標値					
実績(見込)値					
達成度(%)					

指標名②	指標の単位				
指標の説明					
	H28	H29	H30	R1	R2(見込)
目標値					
実績(見込)値					
達成度(%)					

【目標に対する進捗状況】	評価結果なし
【費用対効果】	

【説明】	所管課評価
公営住宅等長寿命化計画の見直しの結果、県営住宅(復興公営住宅)の新設もあり、当面、公営住宅の建替を見送り、用途廃止等既存の市営住宅の合理化に努めることとした。	D

5. 今後の方向性【ACTION(改善)】

【事業の方向性】	廃止・中止
【説明】	
市営住宅の統合建替を見送り、既存の市営住宅等公営住宅を活用しつつ、老朽住宅団地の用途廃止を進める。	

行政評価シート

事務事業名	市営住宅建替事業(茶園団地)			事業開始年度	平成23年度
担当部	建設部	担当課	建築住宅課	担当係	建築係

1. 事業概要

基本目標 (方策の柱)	1. 若者の未来を創るまち
政策 (方策)	(4) 居住環境を整備し暮らしやすいまちをつくれます
施策 (手法)	① 良好な市街地の形成
取組事項	Ⅲ. 市営住宅の整備

2. 事業の目標と成果【PLAN(計画)】

事務事業の目標と見込まれる成果	老朽化した茶園団地50戸の建て替え、及び集会施設の建て替えを目標とした。既存入居者の住環境の向上及び子育て世代の定住化が期待される。
-----------------	--

3. 実施内容【DO(実行)】

取組内容	老朽化した茶園団地50戸の建て替え、及び集会施設の建て替えを実施した。
------	-------------------------------------

4. 事業の分析【CHECK(評価)】

指標名①	老朽住宅除却戸数			指標の単位	戸
指標の説明					
	H28	H29	H30	R1	R2(見込)
目標値	2	14	13		
実績(見込)値	2	14	13		
達成度(%)	100	100	100		
指標名②	新築住宅戸数			指標の単位	戸
指標の説明					
	H28	H29	H30	R1	R2(見込)
目標値	8	10	11		
実績(見込)値	8	10	11		
達成度(%)	100	100	100		
【目標に対する進捗状況】	目標達成				
【費用対効果】	費用に対して十分な効果があった				
【説明】					所管課評価
					A

5. 今後の方向性【ACTION(改善)】

【事業の方向性】	完了
【説明】	平成30年度事業完了。

行政評価シート

事務事業名	二本松市公営住宅等長寿命化計画の見直し		事業開始年度	令和2年度	
担当部	建設部	担当課	建築住宅課	担当係	住宅係

1. 事業概要

基本目標 (方策の柱)	1. 若者の未来を創るまち
政策 (方策)	(4) 居住環境を整備し暮らしやすいまちをつくれます
施策 (手法)	① 良好な市街地の形成
取組事項	Ⅲ. 市営住宅の整備

2. 事業の目標と成果【PLAN(計画)】

事務事業の目標と見込まれる成果	新たな指針に基づき、総合的な市営住宅の活用方針及び活用手法を定め、長期的な維持管理と長寿命化による更新コストの削減と事業量の平準化を図ることを目的とし策定された計画の見直しを目標とする。
-----------------	---

3. 実施内容【DO(実行)】

取組内容	平成28年度に改定された公営住宅等長寿命化計画策定指針に基づき、計画内容の見直しを行う。
------	--

4. 事業の分析【CHECK(評価)】

指標名①	計画見直しにつき指標評価は行わない			指標の単位	
指標の説明					
	H28	H29	H30	R1	R2(見込)
目標値					
実績(見込)値					
達成度(%)					
指標名②				指標の単位	
指標の説明					
	H28	H29	H30	R1	R2(見込)
目標値					
実績(見込)値					
達成度(%)					
【目標に対する進捗状況】	目標達成				
【費用対効果】	費用に対して十分な効果があった				
【説明】	公営住宅等長寿命化計画の見直しが完了した。				所管課評価
					A

5. 今後の方向性【ACTION(改善)】

【事業の方向性】	完了
【説明】	令和2年度計画見直し完了。